

姫路市水道ビジョン 令和6年度の取り組み実績（施策体系別）

※ 後期計画値は中間見直し後の値

施 策	令和6年度の取り組み		関連業務指標等						
	主な取り組み内容	効果	指標名称	R5 実績	R6 実績	達成度	ビジョン計画値		目標値 (目標年度)
							前期 R2～R6	後期 ※ R7～R11	
【強 靱】 災害に強く安定した「強靱」な水道									
施策1 浄水・配水施設の計画的更新と耐震化									
(1) 浄水・配水施設の更新及び耐震化の推進	・新浄水場の整備 →DB(設計・施工一括発注方式)により令和6年度に総合評価落札方式による一般競争入札を実施	・浄水施設耐震化率の向上：11.6%→48.2%（R12予定）	浄水施設耐震化率（％）	11.6	11.6	○	11.6	11.6	81.0 (R51)
			配水池耐震化率（％）	53.4	53.4	△	53.5	53.4	84.5 (R51)
(2) 施設規模の適正化	・新浄水場の整備 →DB(設計・施工一括発注方式)により令和6年度に総合評価落札方式による一般競争入札を実施	・投資の合理化（浄水施設の統廃合） 廃止予定施設：保城、町裏				○			
(3) 水道施設の長寿命化（予防保全型の維持管理）	・漏水調査による配水管の漏水箇所の早期修理 ・止水栓取替等の実施 ・管工事業者の公募による「突発事故対応当番」及び「宅内漏水対応当番」制度を採用し、突発漏水等への迅速な対応 ・電気・機械設備の年次計画に基づく整備・オーバーホールの実施 ・水道施設の日常及び定期点検の結果に基づききめ細かな部品交換などによる最大限の長寿命化 ・水道施設台帳システムの運用（情報の一元化・共有）による効率的な施設点検・改修の実施	・投資の合理化 ・水道事故等のリスク低減				○			
(4) 新たな知見や新技術の導入	・新浄水場の整備 →環境負荷の低減に資する提案を評価項目として、総合評価落札方式による一般競争入札を実施	・ゼロカーボンシティの実現				○			
施策2 水道管路の計画的更新と耐震化									
(1) 管路耐震化の推進	【幹線管路の耐震化】 ・甲山幹線（第4工区）布設替工事（R3～R6） ・甲山幹線（第5工区）布設替工事（R3～R7） ・太子幹線（第12工区）布設替工事（R6～R7）	・耐震化延長（R6末時点） 甲山幹線…全長12.6kmのうち2.7km完了 太子幹線…全長9.4kmのうち8.5km完了	基幹管路耐震適合率（％）	33.5	34.1	△	36.2	42.5	100.0 (R51)
			全管路耐震適合率（％）	45.1	45.7	△	47.4	50.0	94.2 (R51)
(2) 老朽管路更新の推進	・R6年度管路布設替延長（実績）：18.3km ・衛星漏水調査（兵庫県主体）への参加：姫路市全域 ・水管橋の点検・更新（点検130件、更新0件）	・水道水の安定供給（漏水事故等の危険性の低減）	管路更新率（％）	0.60	0.61	△	0.80	0.67	1.00 (R26)
			法定耐用年数超過管路率（％） （管路老朽化率）	32.7	34.6	△	33.2	40.9	47.4 (R16)
(3) 性能の合理化（スペックの適正化）	・管路のダウンサイジング	・投資の合理化 効果額（R6年度：1件 18,205千円）				○			
(4) 新たな知見や新技術の導入	・衛星画像による広域漏水調査	・投資の合理化				○			

姫路市水道ビジョン 令和6年度の取り組み実績（施策体系別）

※ 後期計画値は中間見直し後の値

施 策	令和6年度の取り組み		関連業務指標等							
	主な取り組み内容	効果	指標名称	R5 実績	R6 実績	達成度	ビジョン計画値		目標値 (目標年度)	
							前期 R2～R6	後期 ※ R7～R11		
施策3 災害対策の推進										
(1) 応急給水施設の整備	・重要給水施設へ繋がる管路の耐震化 (R6：対象工事2件) (内訳) 医療機関：0件、避難所：2件	・避難所や病院等へのライフラインの確保 ・災害時の断水被害等の軽減	配水支管が耐震適合性を有する 重要給水施設の箇所数（箇所）	19	21	◎	12	64	84 (R16)	
			緊急遮断弁による貯留量（㎡）	45,670	45,670	○	45,000	45,670	47,000 (R16)	
			応急給水量の確保 （日/全市民）	6日分	6日分	○	6日分	6日分	7日分 (R16)	
			応急給水施設密度 （箇所/100㎡）	1.9	1.9	○	1.9	2.2	2.5 (R12)	
(2) 災害時活動拠点の整備	・新浄水場の整備 →災害対応拠点としての提案を評価項目として、総合 評価落札方式による一般競争入札を実施	・災害時の断水被害等の軽減 ・応急給水の迅速化 ・復旧期間の短縮				○				
(3) 他都市や民間企業等との 連携強化	・県内の事業体との応援協定締結による相互応援体制の整備 （継続実施）	・応急給水の迅速化 ・復旧期間の短縮 ・水道事業と下水道事業の協定を一本化して内容を統 一し、災害時における対応力の向上に寄与				○				
(4) 応急給水・復旧体制の整備	・応急給水資材の整備 ・浄水薬品の貯蔵（約40日分相当の凝集剤及び塩素剤を複数 の浄水場に分けて貯蔵）	・災害時における飲用水の確保 目標（～R7） 応急給水用仮設給水槽 40基 緊急用給水栓レスキュータップ 20組 （R3末 で目標達成） 災害用給水袋 50,000枚（R6末 40,727枚）				○				
(5) 「自助」・「共助」の支援 （地域防災力の向上）	・総合防災訓練の実施	・応急給水・復旧活動時のマンパワーの確保				○				
施策4 危機管理体制の強化										
(1) マニュアルの整備	・危機管理マニュアルの見直し ・災害等対策訓練の実施	・水道事故等のリスク低減 ・事故対応への迅速化、的確な対応力の強化				○				
(2) 緊急時対応力の強化	・姫路市総合防災訓練への参加（継続実施） ・兵庫県水道災害相互応援に関する協定及び日本水道協会兵庫 県支部の技術連携の取り組みとして実施される応急給水実務訓 練並びに情報伝達訓練への参加（継続実施） ・兵庫県企業庁との水質検査等に関する協定（R3締結）に基 づく相互検査協力（継続実施）	・水道事故等のリスク低減				○				
【安 全】 いつでも「安全」で良質な水道										
施策5 水質管理の強化										
(1) 水質監視体制の強化	・水安全計画の適正な運用（継続実施）	・水道水の安全性の向上				○				
(2) 水質検査体制の充実	・計画に基づく水質検査機器の更新（R6：1台更新） ・水道GLPの運用（継続実施）	・検査結果の信頼性の確保				○				

姫路市水道ビジョン 令和6年度の取り組み実績（施策体系別）

※ 後期計画値は中間見直し後の値

施 策		令和6年度の取り組み		関連業務指標等							
		主な取り組み内容	効果	指標名称	R5 実績	R6 実績	達成度	ビジョン計画値		目標値 (目標年度)	
								前期 R2～R6	後期 ※ R7～R11		
	施策6 水質の保全（給水装置における水質保持）										
	(1) 水質の保全	・浄水処理過程における硫酸注入設備の活用（継続実施）	・水質の安定化				○				
	(2) 鉛製給水管の解消	・配水管布設替工事及び漏水修繕工事に合わせた鉛管の取替 R6実績：531件	・水道水の安全性の向上	鉛製給水管率（％）	3.3%	3.0%	◎	3.2	1.8	0 (R15)	
	(3) 貯水槽水道の適切な衛生管理	・直結式給水の普及促進（継続実施） ・保健所と連携した、設置者や管理責任者への衛生対策等の指導、助言等の実施（設置時：上下水道局、設置後：保健所）（継続実施） ・ホームページや広報誌を活用した届出、清掃及び検査の必要性にかかる啓発の実施（継続実施）	・水道水の安全性の向上				○				
【持 続】 将来にわたって「持続」可能な水道											
施策7 経営基盤の強化											
	(1) 水道料金体系の見直し	・水道料金体系の見直し ・基本料金割合の引き上げ ・基本水量の廃止 ・逓増度の緩和 ・平均12.1%の料金改定 ・料金改定施行日：令和7年4月1日	・経営健全性の確保（社会環境の変化や経済動向による水需要の変化に影響を受けにくい料金体制を構築）	経常収支比率（％）	114.0	109.6	△	111.8	108.2	100.0 (R51)	
				資金残高 対 事業収益比率（％）	82.9	109.6	○	56.3	39.5	44.2 (R51)	
				企業償元利償還金 対 料金収入比率（％）	14.9	14.4	○	14.7	15.4	8.8 (R51)	
				経費回収率（％）	106.4	102.4	△	104.2	101.3	100.0 (R51)	
				経常利益 対 営業収益率（％）	12.3	8.8	△	10.5	7.6	7.2 (R51)	
(2) 収納率向上対策の強化	・督促、停水等による債権管理の強化（継続実施） ・キャッシュレス決済の導入（継続実施） ・営業関連包括委託業務へのインセンティブ制度（継続実施） ・収納率 目標収納率 99.80% 実績収納率 99.87% (+0.07%) (インセンティブ加算額 140万円)	・経営健全性の確保 ・収納率の向上				○					
(3) 資金管理・調達に関する取組み	・国への財政支援の拡充及び要件緩和等の要望（継続実施） ・地方債などの債券購入による手持ち資金の運用（運用額：200億円） ・基金の運用（運用額：8.6億円）	・経営健全性の確保				○					
(4) 資産の有効活用	・遊休資産の売却・貸付等の検討 遊休資産件数：11件 総面積：4,695.87㎡ 網干配水場南側用地 3,650.24㎡ 先着順で申込受付中 ・生野ダムにおける小水力発電の実施（継続実施）	・経営健全性の確保				○					

姫路市水道ビジョン 令和6年度の取り組み実績（施策体系別）

※ 後期計画値は中間見直し後の値

施 策	令和6年度の取り組み		関連業務指標等						
	主な取り組み内容	効果	指標名称	R5 実績	R6 実績	達成度	ビジョン計画値		目標値 (目標年度)
							前期 R2～R6	後期 ※ R7～R11	
施策8 生産性の向上に向けた人材育成と能力開発									
(1) 人材育成の推進	・専門技術・知識習得のための資格取得の取り組み（継続実施） ・外部研修等への積極的な参加（継続実施）	・職員の能力向上				○			
(2) 定員の適正化	・技術職員の確保 ・土木職等の技術部門の相互支援や技術交流 ・人員配置（実績） R5：職員数（うち技術職員数） 118（42）人 技術職員の内訳 正規38人、再任用4人 R6：職員数（うち技術職員数） 119（43）人 技術職員の内訳 正規41人、再任用2人 ・配水コントロールシステムの更新 →データ流通仕様が統一され、セキュリティが担保されたクラウドを活用するシステムを導入することで、水道事業が抱える人材不足や技術継承等の課題解決を図る	・人員配置の適正化	職員数（人） （うち技術職員数）	118 (42)	119 (43)	○	120 (37)	125 (45)	126 (49) (R30)
			職員一人当たりの 有収水量	452,439	451,451	○	437,995	411,024	344,725 (R30)
施策9 情報技術等を活用した業務の効率化									
(1) 民間資金・ノウハウの活用	・甲山幹線（第4工区、5工区）布設替工事の施工監理委託（R4～R6） ・新浄水場の整備 →DB(設計・施工一括発注方式)により令和6年度に総合評価落札方式による一般競争入札を実施	・経費削減				○			
(2) 関係機関との連携	・施工場所調整による舗装復旧費の削減	・経費削減				○			
(3) ICTの利活用	・スマートメーターの導入拡大検討（継続実施） ・男鹿島（通信環境テスト実施により現況における導入困難と判断され、当面検討休止とする） ・北部エリア（山間部等難検針地域における通信状況等の確認を実施） ・開栓・閉栓等受付管理システムによる手続きのオンライン化（継続実施） ・配水コントロールシステムの更新 →データ流通仕様が統一され、セキュリティが担保されたクラウドを活用するシステムを導入することで、水道事業のDXを推進 ・上下水道事業の財務会計システム統合に向けた業務委託（R6～R7）	・経費削減 ・利便性の向上 ・デジタル化の推進				○			
(4) 広域化の推進	・広域連携事務担当者会議の開催（継続実施） ・水道事業連携実施計画の策定（県が主体）（継続実施）	・経費削減 ・投資の合理化 ・情報共有				○			
(5) 新たな知見や新技術の導入	・水道施設台帳システムの運用（情報の一元化・共有） ・配水コントロールシステムの更新 →データ流通仕様が統一され、セキュリティが担保されたクラウドを活用するシステムを導入することで、水道事業のDXを推進	・経費削減 ・投資の合理化 ・情報共有				○			

姫路市水道ビジョン 令和6年度の取り組み実績（施策体系別）

※ 後期計画値は中間見直し後の値

施 策	令和6年度の取り組み		関連業務指標等							
	主な取り組み内容	効果	指標名称	R5 実績	R6 実績	達成度	ビジョン計画値		目標値 (目標年度)	
							前期 R2～R6	後期 ※ R7～R11		
施策10 広報・広聴活動の充実とサービス向上										
	(1) 情報発信機能の強化	・新たな情報発信検討会を開催（年8回） ・姫路市上下水道局広報誌「MIZ! vol.2、vol.3」の発行（年2回） ・動画「姫路市上下水道局の現状」、「上下水道料金の改定について」の制作（2回） ・ホームページの充実 ・施設見学や研修を行う「みっす隊」の実施（1回） ・水道週間作品コンクールへの出展作品の募集	・市民からの親しみ、理解・協力				○			
	(2) 水道使用者のニーズの把握	・市政出前講座制度（R6：4件）	・市民サービスの向上				○			
施策11 環境負荷の低減										
	(1) 水道施設の省エネルギー化	・設備機器の更新に合わせた高効率設備の導入（継続実施） ・脱炭素に向けた取り組みの検討（継続実施）	・使用電力量の削減（環境負荷低減と経費削減） ・ゼロカーボンシティの実現				○			
	(2) 資源の有効利用の促進	・浄水発生土の再生利用（園芸用培養土等）	・廃棄物の発生抑制	浄水発生土再生利用率（％）	58.9	67.3	△	70.0	80.0	80.0 (R11)